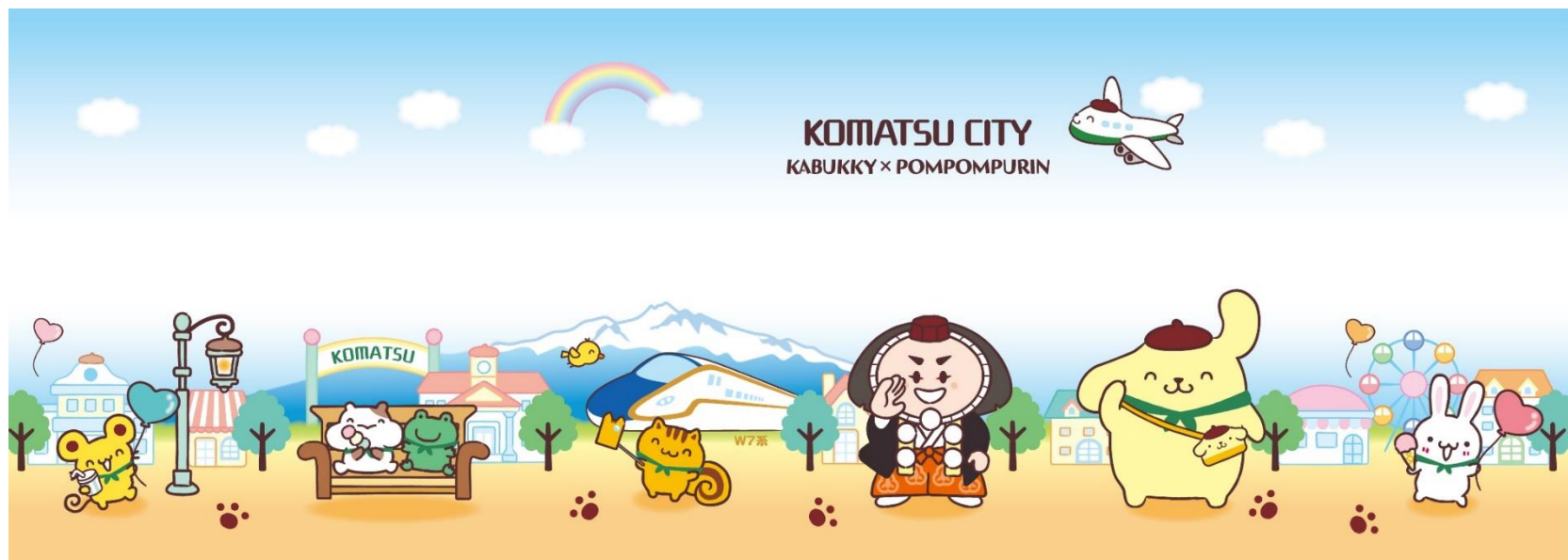


令和7年度 小松市予算のあらまし

小松を明るく、にぎやかに！



予算って何？

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日～翌年3月31日）の税金や補助金などの収入と行政サービスに使われる支出の金額を見積ります。この見積のことを「**予算**」といいます。



● どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています

一般会計 ……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など**市の基本的な仕事に関する会計**

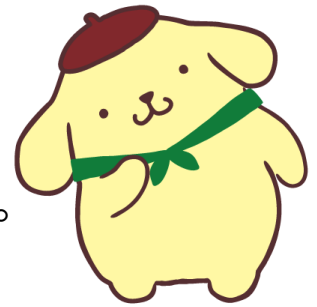
特別会計 ……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など**特定の収入を集めて運営する会計**

企業会計 ……上下水道や病院で、**民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計**

予算って何？

● どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、**市議会の審議・議決**を経て決まります。
1年間の予算で一番最初に決まる予算を「**当初予算**」と言います。



● 年の途中で予算を変更することはないの？

当初予算を変更する必要がある時は、市長が予算の変更案をつくり、当初予算と同じく**市議会の審議・議決**を経て決まります。
この時の予算を「**補正予算**」と言います。

● 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間に入ってきたお金と使ったお金の結果を「**決算**」といいます。年度が終わった後、会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）が決算書を作り、市長が**市議会の認定**を受けます。

令和7年度の予算はいくら？

令和7年度は、令和7年3月に市長選挙を控えていたため骨格予算となった当初予算と、6月補正予算を合わせた予算が通年予算となります。

● 会計別の予算はいくら？

一般会計	547億6,030万円	(前年度比	6.0%増)
特別会計	291億2,610万円	(前年度比	7.0%減)
企業会計	287億7,350万円	(前年度比	12.5%増)
全会計	1,126億5,990万円	(前年度比	3.8%増)

	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率	
一般会計	54,760,300	51,650,000	3,110,300	6.0%	
特別会計	国民健康保険事業	8,907,900	8,992,900	△85,000	△0.9%
	介護保険事業	10,646,000	10,483,100	162,900	1.6%
	公債管理	6,352,200	6,695,800	△343,600	△5.1%
	産業団地事業	1,186,800	3,166,500	△1,979,700	△62.5%
	後期高齢者医療	2,033,200	1,982,000	51,200	2.6%
	計	29,126,100	31,320,300	2,194,200	△7.0%
企業会計	水道事業	3,843,900	3,901,200	△57,300	△1.5%
	下水道事業	11,873,600	9,832,400	2,041,200	20.8%
	病院事業	13,056,000	11,850,700	1,205,300	10.2%
	計	28,773,500	25,584,300	3,189,800	12.5%
合計	112,659,900	108,554,600	4,105,300	3.8%	

単位：千円 △はマイナスを表しています

どんな収入があるの？

市税	個人や企業などから市に収められる税金
国・県支出金	特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付される補助金
地方交付税	全国で一定のサービスを提供するために国や県から交付されるお金
譲与税・交付金	国税として徴収した収入の一部が、一定の基準により地方自治体に譲与されるもの
市債	銀行などから借り入れる市の借金
負担金や使用料	保育料や施設の使用料など
繰入金	年度間調整のため、貯金から取崩す額
その他	ふるさと納税などの寄附金、施設使用料、住民票手数料、諸収入（資源ごみ売却収入などの他に分類されない収入） など

一般会計収入の内訳

款	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
市税	17,620,000	16,470,000	1,150,000	7.0
地方譲与税	392,000	378,000	14,000	3.7
各種交付金	4,065,000	4,387,000	△322,000	△7.3
地方交付税	8,650,000	8,300,000	350,000	4.2
分担金及び負担金	105,351	114,847	△9,496	△8.3
使用料及び手数料	686,127	691,542	△5,415	△0.8
国庫支出金	11,379,082	9,354,636	2,024,446	21.6
県支出金	4,767,372	3,886,068	881,304	22.7
繰入金	1,414,922	2,392,236	△977,314	△40.9
市債	4,133,800	4,546,200	△412,400	△9.1
その他	1,546,646	1,129,471	417,175	36.9
合計	54,760,300	51,650,000	3,110,300	6.0

PickUp

市税

個人所得の伸びによる市民税の増や、北陸新幹線開業や産業団地への企業誘致による固定資産税の増などにより、市税全体で7.0%の増

地方交付税

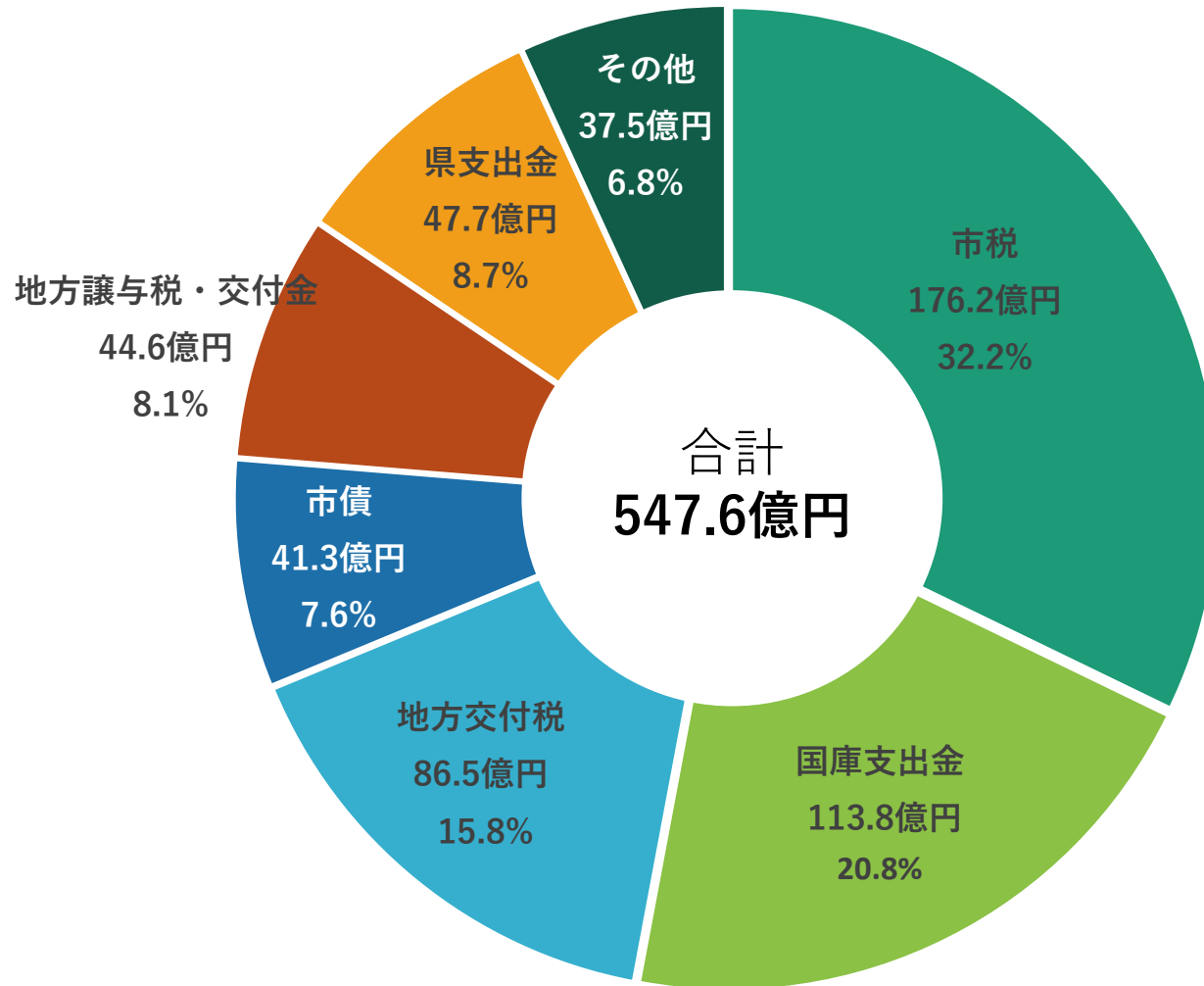
原資となる国税の伸びに伴い、4.2%増の86億5,000万円

国庫支出金

末広野球場改修への補助や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などにより21.6%増の113億7908万円



一般会計収入の内訳



市税の内訳

固定資産税	土地や建物などを所有している人が納めます	74億6,000万円
個人市民税	所得に応じて納めます	64億3,000万円
法人市民税	会社の利益に応じて納めます	16億4,000万円
軽自動車税	軽自動車を持っている人が納めます	3億6,000万円
市たばこ税	タバコを買った人が納めます	7億1,000万円
その他	入湯税や都市計画税	10億2,000万円

地方譲与税の内訳

自動車重量譲与税	2億5,600万円
航空機燃料譲与税	1,100万円
地方揮発油譲与税	7,900万円
森林環境譲与税	4,600万円



各種交付金の内訳

利子割交付金	1,800万円
配当割交付金	9,000万円
株式等譲渡 所得割交付金	1億5,500万円
法人事業税交付金	3億1,800万円
地方消費税交付金	29億1,700万円
ゴルフ場利用税 交付金	5,600万円
環境性能割交付金	5,800万円
地方特例交付金	1億2,500万円
交通安全対策特別交 付金	1,000万円
国有提供施設等 所在市助成交付金	3億1,800万円

地方交付税の内訳

普通交付税	78億5,000万円
特別交付税	8億円

その他の収入

分担金及び負担金	1億5,305万円
使用料及び手数料 施設使用料や 住民票手数料など	6億8,613万円
財産収入 土地等の売却収入や 基金利子など	1億3,464万円
繰入金 基金からの繰り入れ	14億1,492万円
繰越金 前年度からの繰越し	2,448万円
寄附金 ふるさと納税など	6億670万円
諸収入	7億8,083万円



予算は何に使うの？

義務的経費

毎年、必ず支出しなければならない経費

人件費	職員の給料や各種委員の報酬など
扶助費	子どもや障がい者、高齢者等の福祉や医療にかかる経費
公債費	借金の返済に係る経費

一般行政経費

施設の維持管理費や、行政サービスを行うための事務経費

物件費	光熱水費や消耗品費、通信費など
補助費等	特定の事業や研究を行う公益団体への補助金など
維持補修費	施設の維持管理に係る経費など
一部事務組合 負担金	複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市分の負担金
上下水道・病院への 交付金	事業の公益性から、費用の一部を国の基準に基づき負担する経費



投資的経費

道路や公園，防災・減災対策など，建設事業にかかる経費

普通建設事業（補助）	国からの負担金又は補助金を受けて実施する事業
普通建設事業（単独）	国の補助等を受けずに実施する事業
災害復旧事業	災害によって被災した施設を復旧するため実施する事業

その他の経費

積立金	基金（市の貯金）への積立
投資及び出資金	債権などの取得や、公益上の必要性から共同して事業を行う場合の支出など
貸付金	政策上の目的のため、個人や団体に対して行う資金の貸付
繰出金	特別会計に対し負担する経費 国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療等の社会保障に係る特別会計への負担経費
予備費	災害など緊急的に支出が必要となったときのために準備している予算



一般会計支出の内訳



項目	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率
義務的経費	25,509,675	34.7	24,004,997	47.8	1,504,678	6.3
人件費	6,507,275	0.0	6,477,375	12.5	29,900	0.5
うち退職手当	21,100	0.0	360,000	0.0	△338,900	△94.1
扶助費	13,561,000	24.8	12,110,522	23.9	1,450,478	12.0
公債費	5,441,400	9.9	5,417,100	11.4	24,300	0.4
一般行政費	17,045,303	42.9	14,777,952	32.2	2,267,351	15.3
物件費	9,325,744	17.0	7,795,175	15.3	1,530,569	19.6
補助費等	6,865,777	12.5	6,207,177	15.1	658,600	10.6
うち法適用公営企業	2,683,177	4.9	2,641,982	6.3	41,195	1.6
積立金	607,696	1.1	567,578	1.2	40,118	7.1
投資及び出資金	16,886	0.0	12,222	0.2	4,664	38.2
貸付金	229,200	0.4	195,800	0.4	33,400	17.1
維持補修費	372,266	0.7	333,572	0.8	38,694	11.6
投資的経費	7,524,842	13.8	8,394,713	10.7	△869,871	△10.4
普通建設事業費	7,058,092	12.9	8,239,213	10.6	△1,181,121	△14.3
補助事業	3,685,948	6.7	4,003,713	4.9	△317,765	△7.9
単独事業	3,372,144	6.2	4,235,500	5.7	△863,356	△20.4
災害復旧事業費	466,750	0.9	155,500	0.1	311,250	200.2
その他	4,308,214	7.9	4,138,766	8.5	169,448	4.1
繰出金	4,077,138	7.4	3,937,883	8.1	139,255	3.5
事務組合負担金	221,076	0.4	190,883	0.4	30,193	15.8
予備費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
合計	54,760,300	100.0	51,650,000	100.0	3,110,300	6.0

PickUp

扶助費

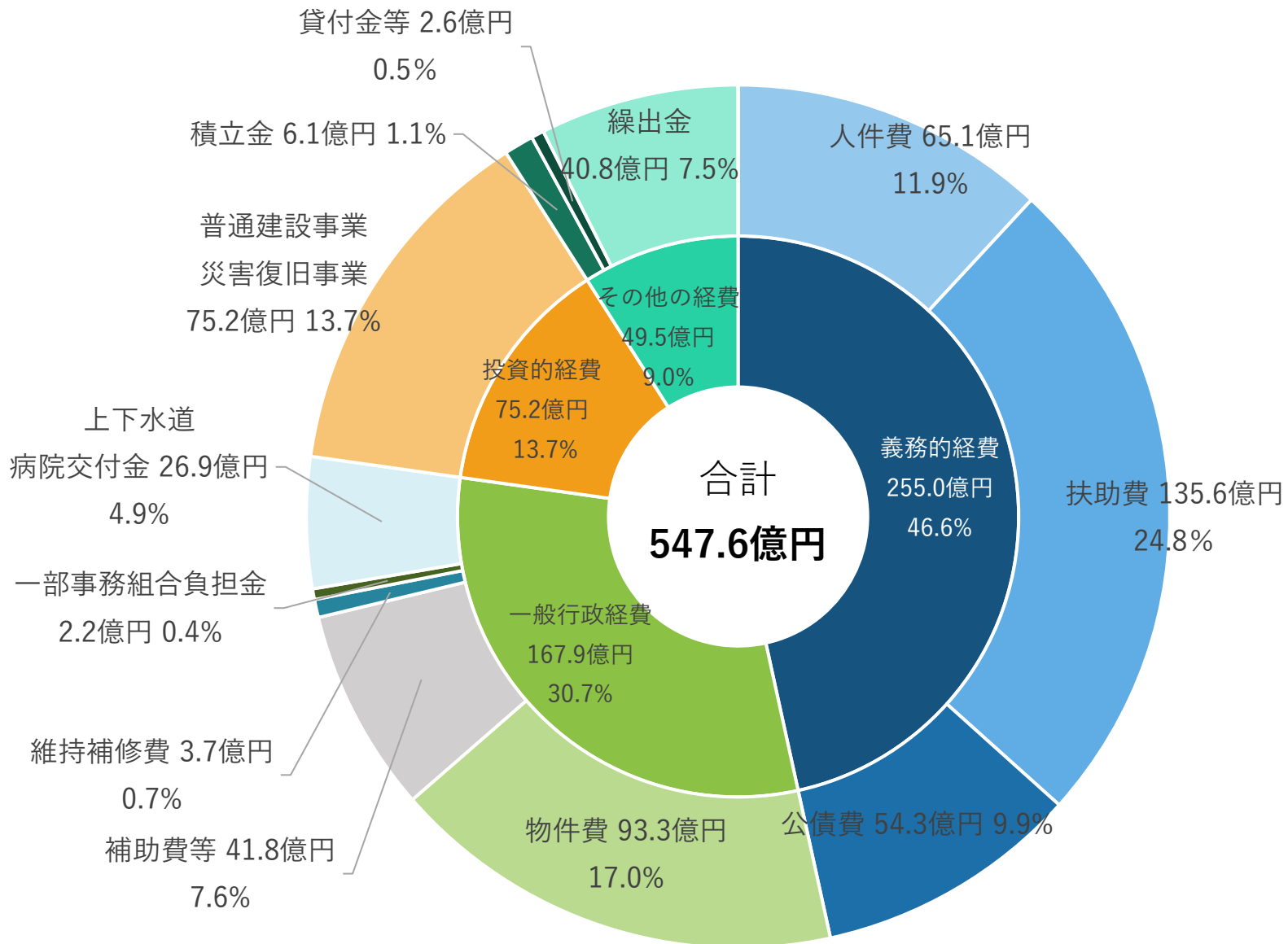
私立こども園等運営費や児童手当などの大幅な伸びによる12.0%増の135億6,100万円

物件費

GIGAスクール構想第2期によるICT教育の推進、人件費や物価高騰による各種委託・調達コストの上昇、施設の管理費増額などの影響により、19.6%増の93億2,574万円



一般会計支出の内訳



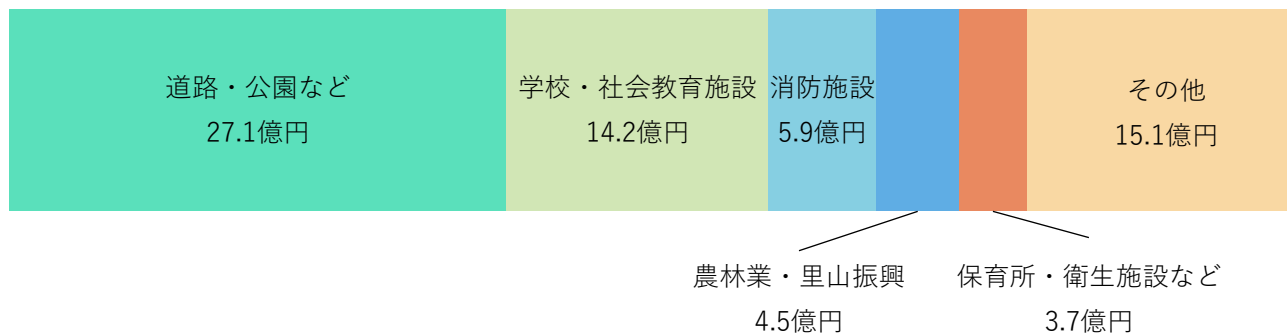
普通建設事業費

企業立地や私立こども園等整備への助成が減額となっているため、一般会計では前年度比14.3%減の70.5億円となっています。

ただし、下水道事業において災害復旧や内水対策に継続的に取り組むこととしており、全会計ではほぼ横ばいとなります。

今後も、必要な整備を着実に進めていきます。

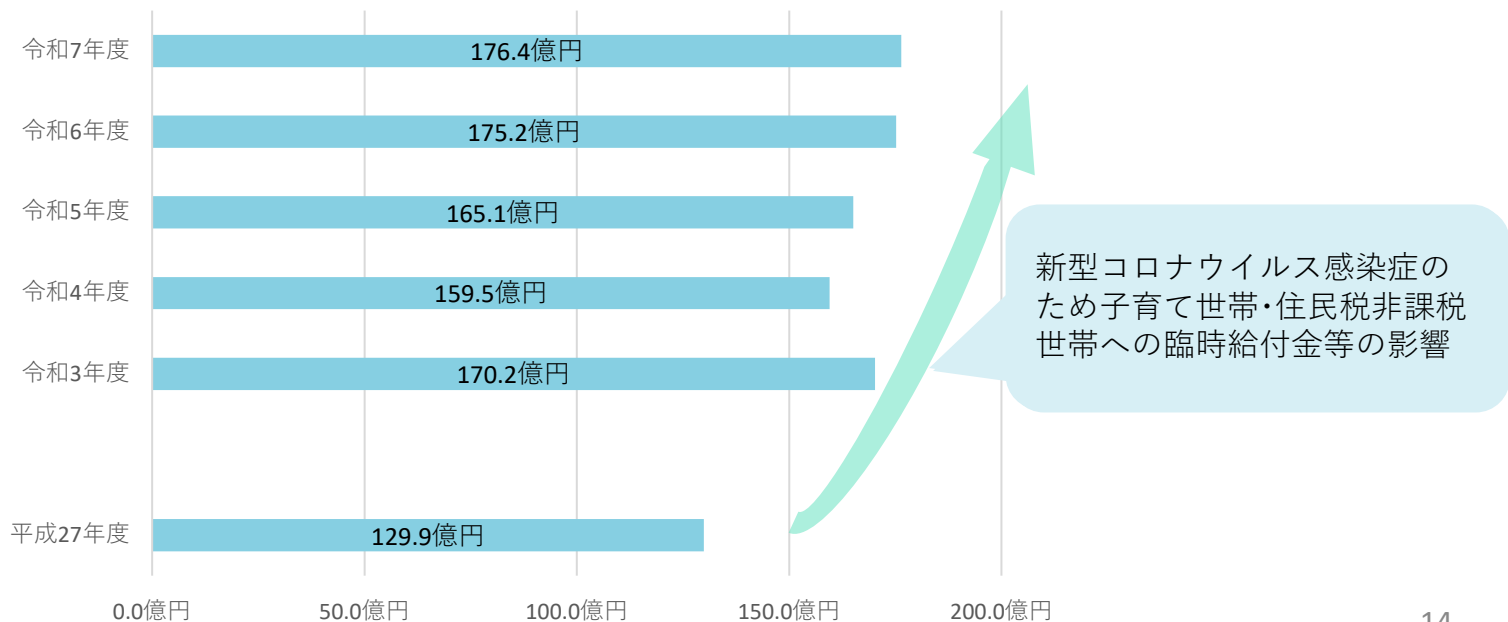
普通建設事業費の内訳（一般会計）



● 社会保障費

少子高齢化の進展により、社会保障費は年々増加傾向にあり、10年前と比べると46億円程増加しています。令和元年10月に実施された幼児教育・保育無償化のほか、児童手当の伸びや障がい者福祉費や介護保険・後期高齢者医療への繰出金の増加などにより、本年度の社会保障費は176.4億円となっています。

社会保障費の推移

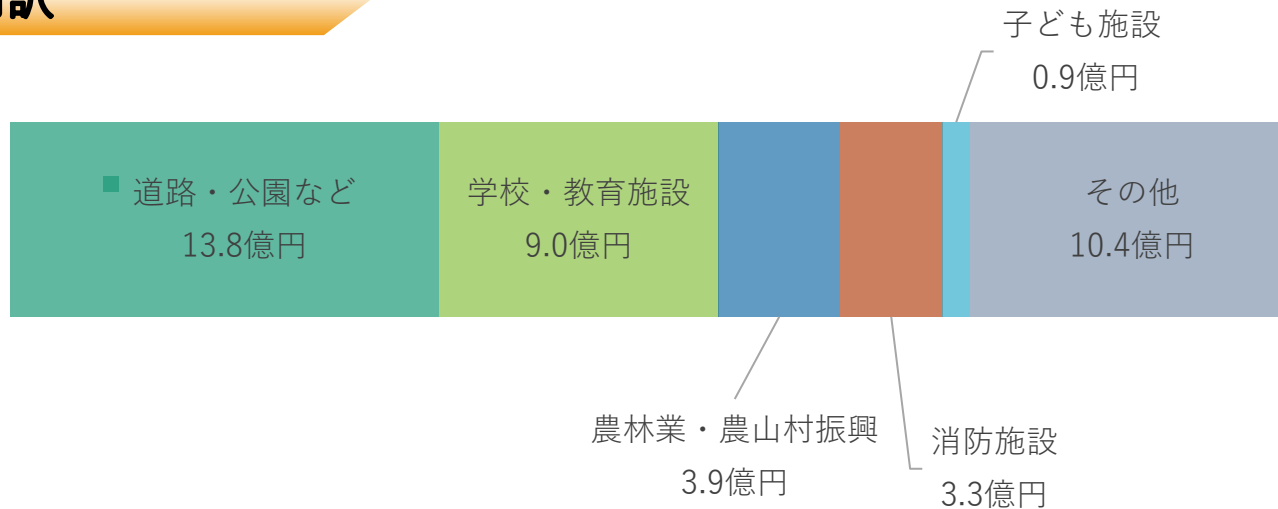


令和5年度までは決算額，6年度は決算見込額，7年度は当初予算額

● 借金をするのはなぜ？

道路や学校などの公共施設の整備には一度に多額の経費がかかります。整備する年の予算を使った場合、施設は長く使われるのに整備に必要な経費は、その時の市民だけが負担することになってしまいます。長期に借入れる借金には、将来施設を利用する市民の税金で支払うことにより、**世代間の負担を公平にする**という役割があります。

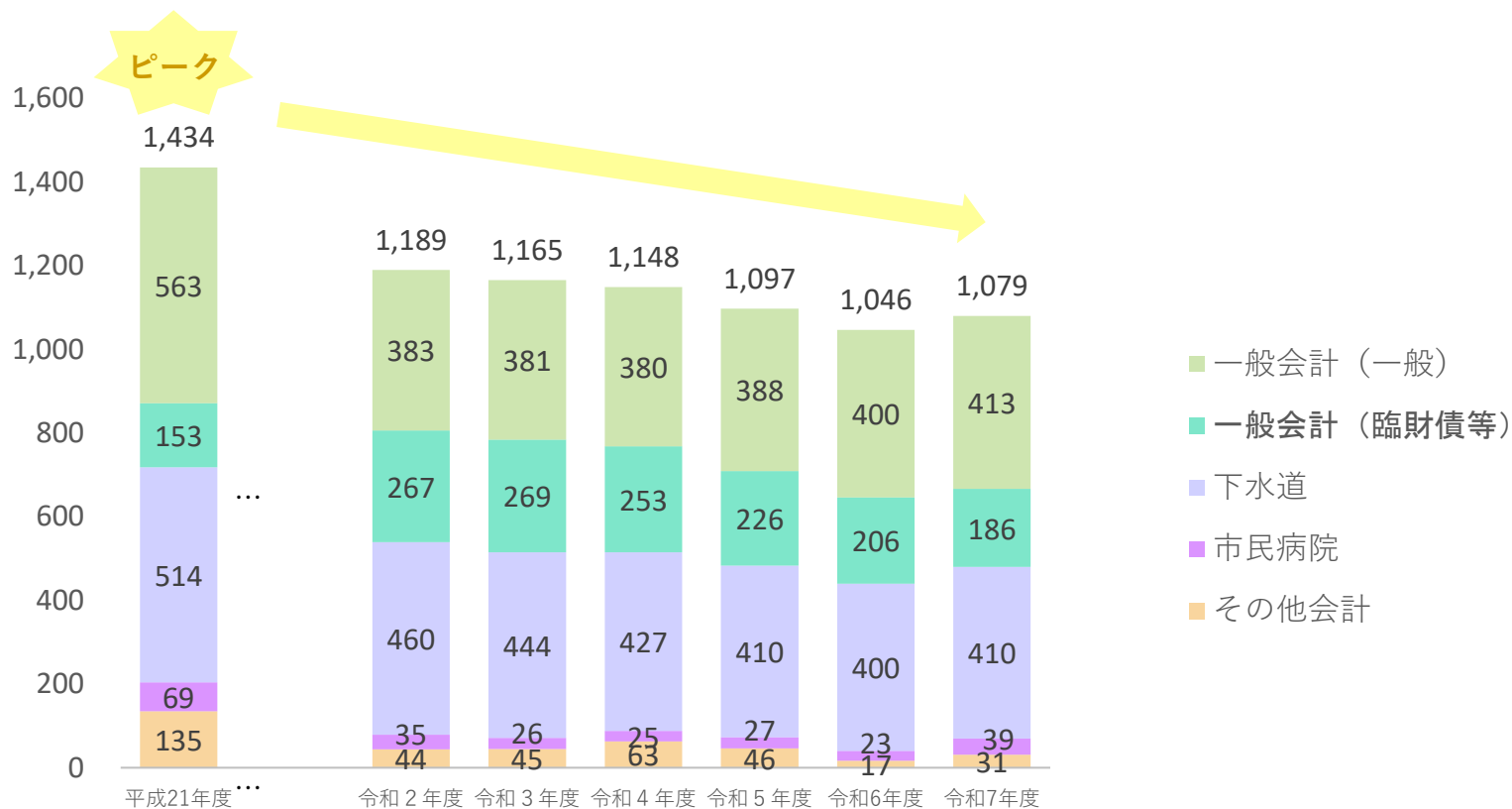
市債の内訳



借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、大型事業の償還完了や繰上償還の実施により減少してきました。令和7年度末の市債残高見込は、全会計で約1,079億円となっています。

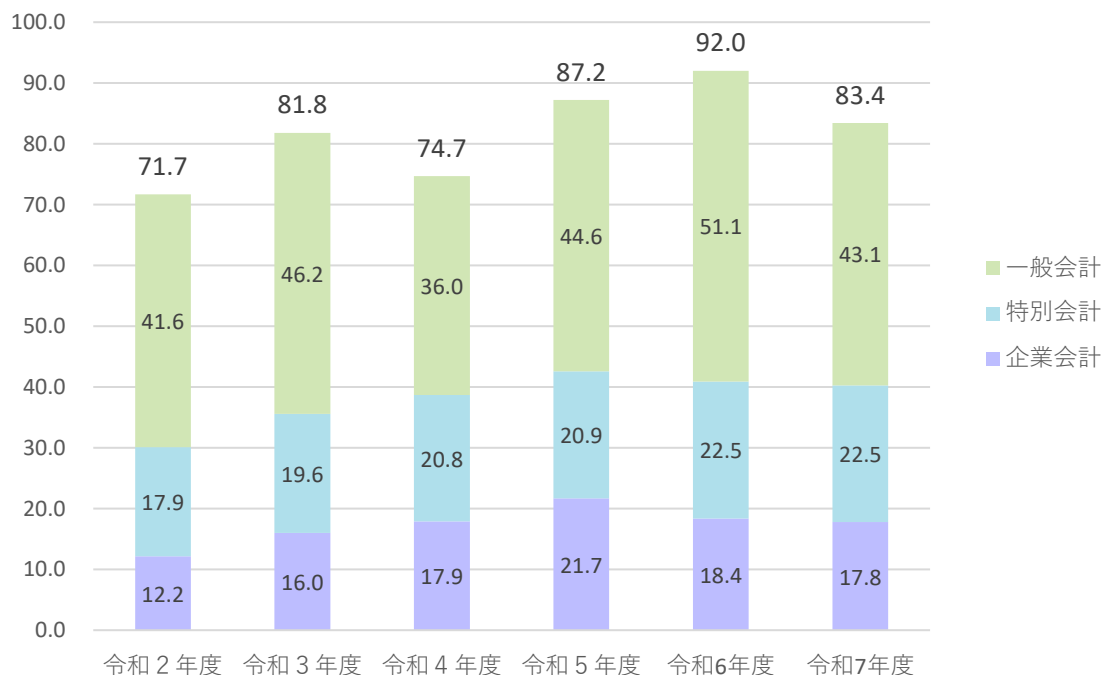
今後も、事業の選択と集中による市債発行額の管理、財政状況に応じた繰上償還等の実施により、財政健全化を図り、将来負担の軽減に努めていきます。



貯金はいくらあるの？

令和7年度末の貯金残高見込みは全会計で82.3億円となっています。一般会計では、財源の年度間調整や、将来を担うこどもの成長、教育を促進する事業、障がい者・高齢者福祉の増進などに活用するため、貯金額は43.1億円となる見込みです。

今後も、借金の減少と合わせて突発的な財政需要に対応できるよう貯金の確保に努めていきます。



令和6年度までは決算額，令和7年度は当初予算額

市民一人当たりにはどのくらいの予算が使われているの？

小松市の市民一人当たりの市税負担額は、167,040円です。市税以外の収入を加えると、市民一人当たり519,226円の事業を行えることとなります。

① 人口（令和7年1月1日現在）	105,484人
② 市税予算額	176.2億円
③ 市民一人当たりの市税負担額（=② ÷ ①）	167,040円
④ 歳出予算額	547.6億円
⑤ 市民一人当たりの歳出予算額（=④ ÷ ①）	519,131円



市民一人当たりにはどのくらいの予算が使われているの？

予算の使い道

こども，障がい者，高齢者の福祉など	189,223円
道路，公園の整備など	60,009円
借金の返済	51,572円
学校教育の充実，文化・スポーツ振興など	84,373円
健康増進，ごみ処理など	30,905円
庁舎などの維持管理，戸籍・税金の事務など	51,382円
消防や防災対策など	23,416円
農林水産業，商工業産業や観光交流など	24,743円
その他	3,508円
合 計	519, 131円



令和7年度予算の詳細や主な施策の概要については、
予算のページにて掲載しています。あわせてご覧ください。



https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1005/zaisei_yosan/2/17522.html



[発行]令和7年6月 小松市総合政策部財政課

〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地

TEL : 0761-24-8144 (直通)

FAX : 0761-24-8190

メール : zaisei@city.komatsu.lg.jp

HP : <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>